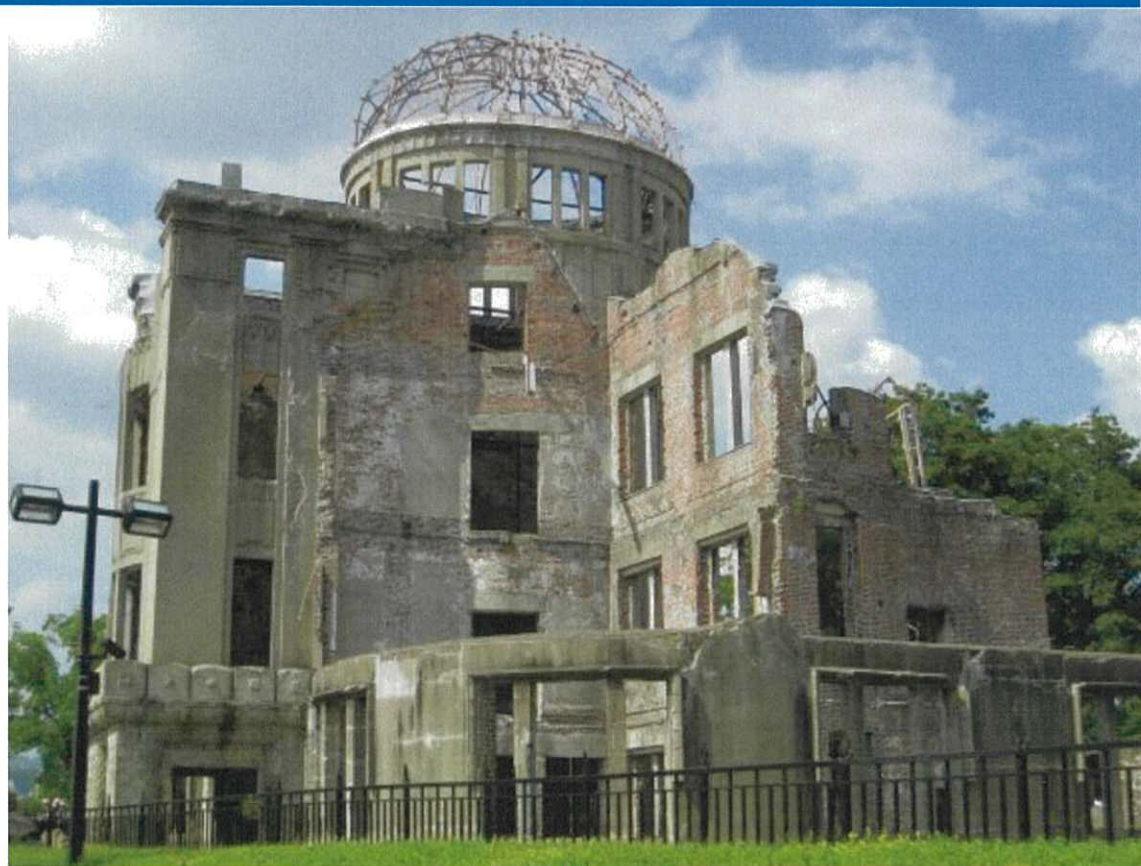


2025

小・中学生広島平和学習レポート



小平市教育委員会

教育部地域学習支援課

目 次

「小・中学生広島平和学習」の実施にあたって	1
小平市非核平和都市宣言	2
平和宣言（令和7年 広島市 平和記念式典）	3
「小・中学生広島平和学習」の日程	5
事前研修・広島での様子	7
事後研修	9
参加者の声	10
参加者名簿	41



「小・中学生広島平和学習」の実施にあたって

小平市は、戦後 60 周年にあたる平成 17 年に、すべての国の核兵器の廃絶を求め、市民とともに、世界の恒久平和を願い、平和なまちづくりを進める決意のもとに非核平和都市であることを宣言しました。

この宣言からちょうど5年を経過する平成 22 年度にむけて、非核平和都市宣言にふさわしい事業を検討するため、平成 21 年度に小平市非核平和事業の在り方等に関する懇談会が設置されました。

この懇談会では、市が新たな平和関連事業に取り組むことで、少しでも世界平和の実現に貢献できればとの願いのもと、検討が行われ、市に報告がなされました。

その報告のなかで、非核平和都市宣言5周年にふさわしい事業として挙げられたもののなかに、参加系事業として「小・中学生の広島派遣事業」がありました。

平成 22・23 年度には、この事業の実現に向けての検討を行い、平成 24 年度に「小・中学生広島平和学習」という事業名で実施することができました。

「小・中学生広島平和学習」は、非核平和都市宣言の願いを踏まえ、こどもたちが実際に広島を訪問して原爆ドーム等を見学したり、平和記念式典に参列することで、戦争の悲惨さ、平和の意義について考えてもらうことを目的としたものです。

戦後 80 年、小平市非核平和都市宣言 20 周年に当たる令和 7 年度は、小学生 2 人、中学生 13 人の計 15 人と引率者 5 人で実施しました。

小平市非核平和都市宣言

世界の平和の実現と核兵器の廃絶は、わたしたち人類共通の願いです。

しかし、世界ではいまだ戦争がやまず、核兵器は人類の脅威となっています。

わたしたちは、世界で唯一の核兵器による被爆を体験した国民として、その悲惨さや恐ろしさを全世界に伝えていく重要な役割を担っています。

先人が築いた玉川上水の清らかなせせらぎと、緑豊かな大地に育まれたこの小平の地を守り、次代を担う子どもたちに引き継いでいくために、わたしたち小平市民は、友愛の心を持ち、平和の実現に努めていきます。

小平市は、戦後 60 周年にあたり、すべての国の核兵器の廃絶を求め、平和への誓いを新たにし、ここに非核平和都市であることを宣言します。

平成 17 年 6 月 7 日

小平市

平和宣言

今から 80 年前、男女の区別もつかぬ遺体であふれかえっていたこの広島で、体中にガラスの破片が突き刺さる傷を負いながらも、自らの手により父を茶毘に付した被爆者がいました。「死んでもいいから水を飲ませて下さい！」と声を振り絞る少女に水をあげなかったことを悔やみ、核兵器廃絶を叫び続けることが原爆犠牲者へのせめてもの償いだと自分に言い聞かせる被爆者。原爆に遭っていることを理由に相手の親から結婚を反対され、独身のまま生涯を終えた被爆者もいました。

そして核兵器のない平和な世界を創るためには、たとえ自分の意見と反対の人がいてもまずは話をしてみることが大事であり、決してあきらめない「ネバーギブアップ」の精神を若い世代へ伝え続けた被爆者。こうした被爆者の体験に基づく貴重な平和への思いを伝えていくことが、ますます大切になっています。

しかしながら、米国とロシアが世界の核弾頭の約 9 割を保有し続け、またロシアによるウクライナ侵攻や混迷を極める中東情勢を背景に、世界中で軍備増強の動きが加速しています。各国の為政者の中では、こうした現状に強くとらわれ、「自国を守るためには、核兵器の保有もやむを得ない。」という考え方が強まりつつあります。こうした事態は、国際社会が過去の悲惨な歴史から得た教訓を無にすると同時に、これまで築き上げてきた平和構築のための枠組みを大きく揺るがすものです。

このような国家が中心となる世界情勢にあっても、私たち市民は決してあきらめることなく、真に平和な世界の実現に向けて、核兵器廃絶への思いを市民社会の総意にしていかなければなりません。そのために、次代を担う若い世代には、軍事費や安全保障、さらには核兵器のあり方は、自分たちの将来に非人道的な結末をもたらす得る課題であることを自覚していただきたい。その上で、市民社会の総意を形成するための活動を先導し、市民レベルの取組の輪を広げてほしいのです。その際心に留めておくべきことは、自分よりも他者の立場を重視する考え方を優先することが大切であり、そうすることで人類は多くの混乱や紛争を解決し、現在に至っているということです。こうしたことを踏まえれば、国家は自国のことのみに専念して他国を無視してはならないということです。

また、市民レベルの取組の輪を広げる際には、連帯が不可欠となることから、「平和文化」の振興にもつながる文化芸術活動やスポーツを通じた交流などを活性化していくことが重要になります。とりわけ若い世代が先導する「平和文化」の振興とは、決して難しいことではなく、例えば、平和をテーマとした絵の制作や音楽活動に参加する、ある

いは被爆樹木の種や二世の苗木を育てるなど、自分たちが日々の生活の中でできることを見つけ、行動することです。広島市は、皆さんが「平和文化」に触れることのできる場を提供し続けます。そして、被爆者を始め先人の助け合いの精神を基に創り上げられた「平和文化」が国境を越えて広がっていけば、必ずや核抑止力に依存する為政者の政策転換を促すことになります。

世界中の為政者の皆さん。自国のことのみに専念する安全保障政策そのものが国と国との争いを生み出すものになってはいないでしょうか。核兵器を含む軍事力の強化を進める国こそ、核兵器に依存しないための建設的な議論をする責任があるのではないですか。世界中の為政者の皆さん。広島を訪れ、被爆の実相を自ら確かめてください。平和を願う「ヒロシマの心」を理解し、対話を通じた信頼関係に基づく安全保障体制の構築に向けた議論をすぐにでも開始すべきではないですか。

日本政府には、唯一の戦争被爆国として、また恒久平和を念願する国民の代表として、国際社会の分断解消に向け主導的な役割を果たしていただきたい。広島市は、世界最大の平和都市のネットワークへと発展し、更なる拡大を目指す平和首長会議の会長都市として、世界の8,500を超える加盟都市と連帯し、武力の対極にある「平和文化」を世界中に根付かせることで、為政者の政策転換を促していきます。核兵器禁止条約の締約国となることは、ノーベル平和賞を受賞した日本原水爆被害者団体協議会を含む被爆者の願いに応え、「ヒロシマの心」を体現することにほかなりません。また、核兵器禁止条約は、機能不全に陥りかねないNPT(核兵器不拡散条約)が国際的な核軍縮・不拡散体制の礎石として有効に機能するための後ろ盾になるはずです。是非とも来年開催される核兵器禁止条約の第1回再検討会議にオブザーバー参加していただきたい。また、核実験による放射線被害への地球規模での対応が課題となっている中、平均年齢が86歳を超え、心身に悪影響を及ぼす放射線により、様々な苦しみを抱える多くの被爆者の苦悩にしっかりと寄り添い、在外被爆者を含む被爆者支援策を充実することを強く求めます。

本日、被爆80周年の平和記念式典に当たり、原爆犠牲者の御霊に心から哀悼の誠を捧げるとともに、決意を新たに、人類の悲願である核兵器廃絶とその先にある世界恒久平和の実現に向け、被爆地長崎、そして思いを同じくする世界の人々と共に、これからも力を尽くすことを誓います。

令和7年(2025年)8月6日

広島市長 松 井 一 寛

「小・中学生広島平和学習」の日程

1日目 8月5日(火)

朝食× 昼食○ 夕食○

時 間	内 容	場 所・備 考
7:30	参加者集合	市役所 立体駐車場東側
7:35	出発	
7:47	青梅街道駅発 	
7:54	国分寺駅着	
8:04	国分寺駅発	
8:54	東京駅着 	
9:30	東京駅発 	のぞみ21号
13:27	広島駅着	
13:45	マイクロバスで移動	
14:15	広島平和記念公園着	荷物はバスに置いておく
14:15~17:05	公園内見学	原爆ドーム、慰霊碑 原爆の子の像(折り鶴) 平和記念資料館等
17:10	マイクロバスで移動	
18:10	ホテル着	
18:10~18:35	荷物等身辺整理	
18:35~20:00	夕食 	ホテル内
20:00~20:10	明日の日程説明	
20:10~	入浴・自由時間	
	検温	体調確認見回り(高橋)
	_____℃	
21:00	消灯・就寝 	

2日目 8月6日(水)

朝食○ 昼食○ 夕食×

時 間	内 容	場 所・備 考
4:40~5:20	起床・洗面 清掃・身辺整理 検温 _____℃	
5:20~6:00	朝食 	
6:10	出発準備	ホテル発
6:55	マイクロバスにて出発	受付は 7:20 まで
8:00~8:55	広島平和記念公園着	
8:55~10:00	平和記念式典参列	1人1束
10:30	休憩・献花	
11:00~12:00	マイクロバスにて移動 昼食（お好み焼き） 徒歩にて移動 	ひろしまお好み物語
12:10	広島駅着	
12:10~12:55	班ごとに自由行動	土産店等
12:55	集合	
13:18	広島駅発 	のぞみ28号
17:15	東京駅着	
17:41	東京駅発 	
18:26	国分寺駅着	
18:49	国分寺駅発	
18:55	青梅街道駅着	
19:10	市役所到着・解散	



事前研修・広島での様子

事前研修

令和7年7月5日（土）午後2時30分～4時30分
中央公民館

保護者同席のもとで日程や持ち物などの説明を行い、その後、参加者のみで事前研修を行いました。

他の参加者や引率する青少年委員・看護師・小平市職員と初めて会って、最初は緊張していた参加者も、班ごとのワーキングをとおして、次第に緊張がほぐれ、みんな笑顔になっていきました。

最後に宿題を出されて、びっくりしていたみなさんですが、8月5日に元気で会うことを約束して、事前研修は終わりました。



広島での様子

令和7年8月5日（火）～8月6日（水）

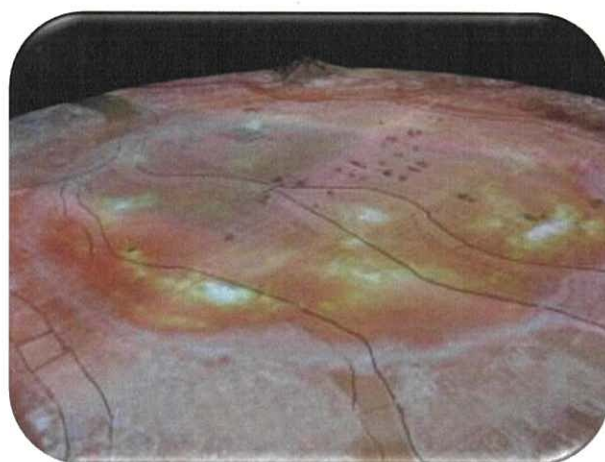
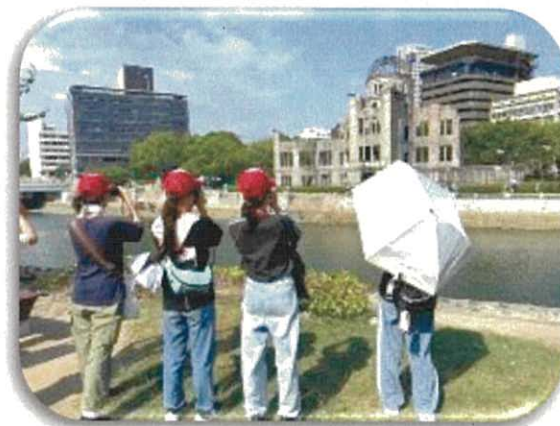
8月5日は、原爆ドーム→平和の時計塔→平和の鐘→原爆の子の像→平和の灯（ともしび）→原爆死没者慰霊碑→アオギリ→広島平和記念資料館→爆心地の順に歩いて見学しました。原爆の子の像では、参加者みんなで折った千羽鶴を捧げました。

とても暑く、人ごみの中での見学となりましたが、被爆当時の惨状を残す原爆ドームを間近に見て、みなさんの「遠い昔の遠い所での出来事」という思いは変わったようです。



広島平和記念資料館では、「平和学習ワークブック」を片手にメモをとりながら、模型や映像・写真、被爆資料などを見て、原爆の恐ろしさをあらためて知りました。

広島までの新幹線車内で賑やかだった参加者も、みんな真剣に見学していたのがとても印象的でした。



8月6日は、平和記念式典に参加しました。厳しい日差しで、とても暑い日になりましたが、前日に学んだことを振り返りながら、また、原爆が投下された当時もこのように暑い日であったことを思いながら、祈りを捧げました。

式典終了後には、世界平和の願いをこめて1人ずつ献花を行いました。



事後研修

被爆体験者等の講演

令和7年8月16日（土）午後3時～午後3時50分

被爆体験や平和への思いなどを受け継いだ広島市被爆体験伝承者である野田 信枝さんにお話ししていただきました。

「小・中学生広島平和学習」の参加者は、最前列で一般参加者とともにお話を伺い、実際に広島へ行って学んできたことと合わせて、平和の大切さについてあらためて深く考える機会となりました。



報告会

令和7年8月16日（土）午後3時50分～午後4時20分

「被爆体験者等の講演」に引き続き、参加者から広島へ行って学んだことを1人ずつ報告してもらいました。

平和な世の中をつくっていくために大切だと思うことや、そのために自分たちができることなどについて、ひとりひとりが考えて発表し、みんなとても立派な報告でした。

参加者からの報告のあとは、被爆体験伝承者との懇談も行いました。



参加者の声

参加者は、事前研修で学んだことなど、様々な想いを胸に抱いて広島を訪問しました。

事前研修や事後研修などでまとめた参加者の声は、以下の4つの視点から書かれています。

- ① 平和学習に参加する前の広島のイメージ
- ② 平和学習に参加した後の広島のイメージ
- ③ 平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて何が一番印象に残ったか
- ④ 平和な世の中をつくっていくために何が大切で、そのために自分たちができることは何か

参加者が自分の目で見て、耳で聴いて、肌で感じてきたことが、自分の言葉でつづられています。

参加者のみなさんは、実際に広島へ行ってどのようなことを感じたのでしょうか。



広島について思うこと・・・

氏名（久保内 海翔）

【広島平和学習に参加する前】

僕は教科書でけんぱくが落とされた様子というところ
でしか知らていました。
原爆ドームのまんましか知らていました。
あとお母さんがおおいのかと聞いてみる。

【広島平和学習に参加した後】

平和記念館を見学、おそろしきことかいてきました。
特に白のついで、洋服とか、形が変かしてやるお弁当は、とかは
すごくいいお弁当でした。
今、僕は、あつちのように平和な生活をしてるけど、それはあつちが
なっているのを実感しました。
また、広島のお母さんがおおいに感動しました。

思い出して、考えてみましょう。

小平第2中

学校 2 年

氏名: 久保内 海翔

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

平和記念資料館では、火をきけた洋服や形が変形したお弁当箱など、
原爆の被害にあった人々の遺品が展示されていて、一つ一つに重みを感じました。被爆者の証言は深く心に残りました。当時の苦しみ、悲しみが伝わってきました。

また原爆からからは戦争の恐ろしさを感じました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

平和な世界をつくるには、戦争や原爆のことを知り、自分ごととして考えることが大切です。

争いを防ぐには、話し合いで解決する力を育てたり、命の大切さを日ごろから意識できることが大事だと思います。

広島について思うこと・・・

氏名 (小林 角輝)

【広島平和学習に参加する前】

G7サミット、原爆が落とされた所、敗戦の引き金
お好み焼きが美味しい。厳島神社、原爆で亡くなった人々、
非常に多い。毎年平和式典が開かれている。原爆ドーム
東京から遠い。

【広島平和学習に参加した後】

原爆によって、人々が苦しみ亡くなったところ。
小さな命も関係無く殺され、今も後遺症で苦しんでいる人々も。
平和式典が開催される所、原爆についての遺された物々
数多くある。東京から約400km、遠い。
お好み焼きが美味しい。

思い出して、考えてみましょう。

上水中

学校 2 年

氏名: 小林 侑輝

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

印象に残ったのは平和記念資料館。一瞬の爆撃で資料館が埋まるほどの悲惨な物が生まれてしまったことに胸がしめつけられる気持ちになった。

原爆の悲惨さを残し続けないと、戦争が繰り返り起こり、原爆以上の悲劇が起こるかもしれないから、これらの物は、必ず失ってはいけないと思う。一番心に残ったのは、亡くなった子供の服。サイズが小さいから、

「こんなに小さい子供達も、一瞬で亡くなったのね」と思うと、原子爆弾の事がさらに憎くなった。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

私の父にもこの話題を振ったら、「祈るだけじゃあね」と話していたのでそれもそうだと思う。祈ったところで世界が大きく変わることは無いだろうし、祈る以外にも他に方法が必要だと思う。何の行動を起こさないといけないと思う。祈ることももちろん大切だ。それに加え、実際に原爆ドームや平和記念資料館・平和記念公園に行った時に感じた事を素直な意見で周りに言ってみることが大切だと思った。

ただ、日本は80年前と比べ、平和になっているから「平和になるために……」という疑問に対して答えを出すのが難しかった。

広島について思うこと・・・

氏名 (宮奈 新)

【広島平和学習に参加する前】

- ・世界で唯一原爆がおとされ、世界からも日本からも忘れられない場所。
- ・原爆の影響で苦しんだ人や被爆した所がある。
- ・広島焼きおいしそう 
- ・バスケットが強い 
- ・半径2kmがヤけた。

【広島平和学習に参加した後】

- ・被爆した人々は皮膚がたれて大きな火傷を負った。
- ・建物は後にも残らないくらいに壊れた。
- ・さだ子さんの像と折り紙には平和への願いがこめられていた。
- ・お好み焼きが美味しかった。

思い出して、考えてみましょう。

小平市立上水中学校 2 年

氏名: 宮奈新

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

今回の広島で印象に残ったことが2つあります。1つ目は、平和記念公園のさだ子さんの像と折りづるです。理由はもう戦争から80年もたっていて、戦争を体験していない人たちが多ければ、さだ子さんの像の戸所としても数えきれない量の折りづるが飾られていて色々な人々が戦争について考えたり、平和を願っていることを実感しました。2つ目は、平和記念資料館の原爆投下後の写真です。原爆の影響により皮膚がただれ、全身に火傷を負い、建物の破片が刺さった人々の写真を見て、胸が痛くなりました。僕は二度と戦争が起らないと思いました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

今行なわれている戦争や紛争と向き合い、争いをなくすための努力も必要だけれど、日本は唯一原爆を落された国として、その時の苦しみや悲しみを世界に、また日本の人々に伝えて行くことも大切だと思います。これからの未来へ広島で起ったことを決して忘れない出来事として受け継がれていけば、戦争はなくなると思います。そのためにも実際に広島に行き、体験したことやまずは身近な人に伝えていきたいと思いました。

広島について思うこと・・・

氏名（ 室谷 知宏 ）

【広島平和学習に参加する前】

- ・原爆景が拍下されたり
- ・平和な都市
- ・拍下前は、軍港
- ・お好み焼きがおいしい
- ・お好み焼きがおいしい
- ・広島がかわいい。
- ・納豆屋さんが多い
- ・原爆の跡がくっきりと残っている
- ・平和公園がきれいでいい
- ・お好み焼きの店が異常に多い
- ・お好み焼きの店がドーナツ屋と重なって書いてある所、お好み焼きとドーナツ屋が重なって書いてある所
- ・広島市の内がきれいな所
- ・平和公園がきれいな所
- ・海の近くで、お好み焼きがおいしい
- ・海がきれい
- ・広島のお好み焼きがおいしい
- ・広島がかわいい
- ・お好み焼きの店が多い、最高
- ・お好み焼きの店が多い
- ・お好み焼きの店が多い

【広島平和学習に参加した後】

- ・原爆に接するいい機会が「かなりあったので」。
- ・お好み焼きの味が、全然違った。
- ・世界中の人達の平和にたいする思いが伝わった。
- ・高校生が書いた絵で、原爆のリアルを知れた。
- ・原爆に「ム」が残った理由を知ることができた。
- ・やはりお好み焼きはめっちゃおいしい。

思い出して、考えてみましょう。

小平市立第一中学校 二年

氏名: 室谷 知宏

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

私は、平和記念資料館の被爆者の人達が描いた絵が一番印象に残りました。たった一発の爆弾が広島の人達を一日で同じ人だとは思えないようなおぞましい姿に変え、地獄に落とされたことが伝わってきました。

もし、東京で核兵器が爆発したり、私が家族もあのような人になってしまうと考えると、とても恐ろしく思えます。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

平和な世の中をつくっていくためには、子供への教育がとても大切だと思います。現在、現役の人がいくら反戦か核兵器廃絶を訴えたとしても、それが今の子供や子孫まで伝わりなければ意味がありません。戦争や原爆の悲惨さを伝えていくためには、私たちが絵本や動画などをつくらせ、被爆者の体験談を語り継ぐことが大切だと思います。

広島について思うこと・・・

氏名 (鈴木 久)

【広島平和学習に参加する前】
 世界に戦争の
 はんちゅう、平和を^{うたえる}~~たもつ~~ ^{ことです}~~かんが~~ ~~え~~ ~~か~~ ~~の~~
 おそろしさ、戦争のおそろさを~~うたえる~~ ^{うたえ} ~~かんが~~ ~~え~~ ~~か~~ ~~の~~
 こともありました。

【広島平和学習に参加した後】しめてんを見てけんしりくはだ
たんのことをうたていかんがえました。

思い出して、考えてみましょう。

小 金 井 南 中

学校 3 年

氏名: 須田 明也

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

平和記念資料館にいったら、からい戦争のことにはじめて
のおそれを感じてしまった。戦争の怖さや、戦争の
は、それができなかったことを書いてかなにないま
した。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

けんしやくしかくのこころをたづねることです。

広島について思うこと・・・

氏名 (新木 奨)

【広島平和学習に参加する前】

僕の祖父は、小学生の時に広島で被爆しました。田舎に疎開していたにもかかわらず、原爆投下された市内にすぐ戻ったため被爆者と認定され原爆手帳も持っていました。

小学2年生の時に家族で平和記念公園に行く機会があり、原爆ドームや資料館を見た時に衝撃は受けるもまだ小童ながら僕は現実味がなく、遠い国で起きた事のように感じていました。広島は僕のルーツであるが故に周りの人以上に8/6(8/9もしかり)忘れてはいけないという強い思いがあります。

【広島平和学習に参加した後】

戦争がどれほど恐ろしく、どれほど辛いものであったかがよく分かりました。平和記念資料館内で様々な遺物が展示されていたり、親子3人のストーリーなどを見て、自分がその時生まれていたら、どうなっていたのかなどと考えてしまいました。原爆投下の再現映像を見て、そんなに大きな爆弾があの大きな町を一瞬にして火の海にしていって、衝撃を受けた。戦争は絶対に起ってははいけないものだと改めて思いました。広島で買ったお土産は最高に美味しく、お好み焼きも最高に美味しかったです。

思い出して、考えてみましょう。

小平市立小平第五中 学校 3 年

氏名: 新本 奨

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

僕は印象に残ったことが2つあります。

1つ目は、資料館内の原爆投下の再現です。あの人間よりちょっと大きい爆弾がその何倍もの大きさの大きな町を一瞬にして破壊してしまう映像を見て、「自分達の町がこうだったら、なんて考える？」と恐ろしくて印象に残りました。

2つ目は中学生の遺品です。説明欄に、「いつも通り学校に行ったら還らぬ人になった。」と書いていました。家族はどれだけ悲しくて辛い思いをしたか、こっちまで辛くなりました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

平和な世界をつくっていくためには、他国との交流・コミュニケーションをとる事だと思います。他国の人々に、戦争の悲惨さや恐ろしさを伝えていく。そうする事で戦争を反対する声が世界中へと広がっていくと思います。

また、コミュニケーションをとる上で、他人の立場や考えを尊重し、違いを受け入れる事が大切だと思います。自分と異なる文化や価値観を学び、偏見や差別をなくしていく事が平和が訪れると思います。

広島について思うこと・・・

氏名 (大林 大和)

【広島平和学習に参加する前】

- ・ 原爆最中ムがある
- ・ 97ガレムが落ちた場所
- ・ 長山寺とて、原爆が落ちた
- ・ 広島神社がある
- ・ 平和記念式典が毎年行われている
- ・ 11313 軍用機隊のものが多い(平和記念公園や呉港など)
- ・ 水と火の交差点がある
- ・ 中国とせうの中は大きな着る市
- ・ フロムと球ののかのスタジアムがある

【広島平和学習に参加した後】

- ・ 原爆が落ちたことにより、実際に軍用機隊のものが多い
- ・ たくさんの命が一目にうつる場所
- ・ 世界中の平和を実現するために必要な場所
- ・ 原爆の被害を現存まで残している
- ・ 長山寺とて、原爆の大切さを伝える場所
(長山寺のしおれは水と火の交差点、11313のしおれは、
広島のとて、原爆の大切さを伝える場所)
- ・ 長山寺とて、原爆の大切さを伝える場所

思い出して、考えてみましょう。

小平^{第六}中学校 3 年

氏名: 木本 大和

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

僕が平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて一番印象に残ったものは、3人の学生の火炎けたたけの制服だ。なぜなら、学生というのをまず身処に感じ、いちばん「もし自分だったら」と考えることができた展示だったからだ。また原爆ドームもやはり印象に残っている。教科書やテレビなどで見るのと分らない金失骨がたくさん入っていて、それほど建物をおろす原爆ドームはすごいと思ったし、それ以上の金失骨を使っても原爆ドームを壊すことができないことに、それほど後世に伝えなければいけないことをちゃんと実感したから。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

僕はこの学習を通してどんな理由で、武器を持っている時点で平和な世の中ではないし、全員が武器を持たないようにならないという人が言う「平和」にはならないと感じた。今、日本はアメリカと米安全保障条約を結んでいて日本が攻撃されたらアメリカが助けてくれる。けれど、それは武器によって守られている平和であって、「平和」ではない。ここ数年で世界中にいろいろな戦争が起きている。それに合わせて世界で平和という言葉が聞かれるようになった。平和を愛する国はどんどん増えているだろう。たしかに平和は抑止力にはなるが、それはいつまで続くのかわからない。少なくとも日本は世界でたった一つの被爆国として平和を叫ぶべきではないと思う。そんなことをしない人を国の代表にするために積極的に選挙に行ったりニュースに耳をたむけることが大切だと思う。

広島について思うこと・・・

氏名 (熊谷 侑来)

【広島平和学習に参加する前】

- ・もみじまんじゅうが有名
- ・世界で初めて、原はくをおとされた所
- ・学校で原はくドームの写真を見たことはあるけど、直接見たことがないから、興味がある。
- ・東京からとても遠いから、行くのに難しい。
- ・お好み焼きがとてもおいしい。

【広島平和学習に参加した後】

- ・原爆はおそろしい核兵器
- ・原爆が落ちた後も、苦しんでいる人がいる
- ↓
- ・放射線のせいで、白血病になる。
- ・被爆者のお墓は、はにわみたいな形をしている
- ↓
- ・雨を防ぐため
- 戦争はとてもおそろしい

思い出して、考えてみましょう。

小平市立小平第三小 学校 六 年 氏名: 熊谷 侗来

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

私が印象に残ったことは、原爆ドームです。
真近で見たときは、驚きました。今にも崩れそうで
戦争の^恐ろしさが伝わって来ました。原爆ド
ームの中では、柱が何本もあり、崩れないようにして
いたのが印象的でした。原爆ドームは、テレビでし
か見たことなかったけれど、真近で見れて、戦争に
ついて勉強になりました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

今世界では、戦争をしている国、していない国が
ある。戦争をしている国は、人が亡くなったり食料を
手に入れずらくなります。戦争をしている国と、してい
ない国は、全く関係ないとは言えません。
戦争を止めたり、無くしたりするには、誰かが声をあげな
いと平和は、実現できません。二度と戦争を起こ
しては、いけない。戦争の^言い^小意^を未来に^記金^録し、
次の世代につないでいかなければなりません。
平和を実現に一步でも近づけるために、大切なことだと思
いました。

広島について思うこと・・・

氏名（三島 梨緒）

【広島平和学習に参加する前】

本とかで、弁当箱が黒くなっていたり、
時計が重くなくなっているのを見たこと
があって、こんな事がつづいてほしくないという
いんしょうです。

原爆がどれほどおそろしい物が
教えてくれる県だと思います。

【広島平和学習に参加した後】

二度とこんなことが起こらないようにしたい。
原爆が落ちて子供や親をなくした人がたくさん
いた。
服とかがやけていて、こげていた。

思い出して、考えてみましょう。

11年第十一小

学校

6年

氏名: 三島 梨緒

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

平和記念資料館で見た 弁当箱の中身が灰色になっ
ていたのが印象に残っています。

弁当箱の箱もぐちゃぐちゃになっていく。

原爆でこんなになるんだ、と思いました。

本でも見たことはあったんですけど、実際に見たことで
原爆のことがより分かりました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

まずは話し合いが大切だと思います。

他の人の意見を聞くことで考えが深まると思うからです。

自分たちができることは、

このことを伝える事だと思います。

広島について思うこと・・・

氏名 (飯島 和彦)

【広島平和学習に参加する前】

- ・ 世界で初めて原子爆弾が投下された場所
- ・ 戦争の悲惨さや平和への願いなどいろいろなことがあつた。歴史的な重要な場所
- ・ 他人の戦争への願いや考えなどが知りたい。
- ・ 原爆が落とされた時の町の様子だったり、原子爆弾が落ちてからどういった形で作られたり爆発した時の物の状態だったりなどを目で見ておもしろいと感じてみたい。

【広島平和学習に参加した後】

- ・ 原子爆弾が投下された時の広島の様子などが分かったし、悲惨さを知れて戦争の怖さなどを実感できた。
- ・ 世界で初めての原子爆弾が使われた戦争での町の風景や人々の様子なども環境だったのかがよく分かった。
- ・ 普段ではありえないようなことが広島であったから、このようなことが二度と起きないようにと実感できた。

思い出して、考えてみましょう。

小平第四中

学校 2 年

氏名: 飯島 和夫

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

私は人影のろといふのか印象に残りました

なせな。原子爆弾が投下された時の状況や、被害などが
知れたから。

その時の光景や、瞬時のうちに起ったこと、そこに座っていた
人々が抵抗も出来ずにやられてしまったこと、実際に
実感できたから

原子爆弾の威力や怖さなどをおぼろげに知れた
から

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

戦争の悲惨さを知って二度とやらないとしっかり
思えることが大切

少しでも戦争というものを知って、何が怖いのかや、どんな
規模なのかをしっかりと考えた上での行動が大切だ
なと思いました。

呼びかけや、考えが少しでも知ってらるっていいな
人の意見を聞いて案を出した方がいい。

二度と起こさないと決まらなければ、後世に伝えたい
かなと思います。

広島について思うこと・・・

氏名 (徳武 瑞月)

【広島平和学習に参加する前】

・お好み焼き ・遠い ・割と都会 ・自然が美しい
・西の方 ・原爆が落ちた場所
・南の方 ↳70年は草も生えないと言われていた。
・広い ・日本の中では良いところ ・平和(犯罪少なそう)
・本州 ・方言がある ・キレイ ・戦争時こう撃が少なかった
・発展している ・住みやすそう ↳(原爆を落とすため)
・原爆が落ちたが、ふたたび立ち上がった強さがある。
ワフ。
悲しさなどの思いがたくさん残っていそう。
とてもやさしく、強い。

【広島平和学習に参加した後】

人類最悪の悲劇の舞台となった場所 } 戦争の歴史が
戦争の歴史を伝える場所 } やきっていた
戦争のあとを色く残す場所
平和で空気もキレイ } 普通の日本の
人や子どもも多く、にぎわいがあ、た } 一都市でもあ、た
観光客も多かった。
戦争を体験していたような遺族や お年よりの方もいたが、
わかい人もたくさんいた。
みんな戦争の過去を忘れないように
力を合わせて人に歴史を伝えている。

思い出して、考えてみましょう。

上水中学 2 年

氏名: 徳武 瑞月

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

少し違う場所かもしれませんが、バスに乗っていたときに
道の横に見えた たくさんの慰霊碑です。

理由は、こんなに作るほど多くの方が亡くなったのを実感したの
と、最初に生で見た原爆関連のものだったので 強く印象に
残りました。

複数あるのにどれも手入れされていて、千羽鶴が何個もあって、
関係者や遺族、生き残った方々のよりこころな のれ と思い
ました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

平和な世の中を作るのは難しい。ということを改めて感じました。原爆
をなくすのも、戦争をなくすのも、平和を作るのも、人ひとりひとりで
は できそうもないほど 難しい と思います。私にできることは「争い
を作らないこと」だと思います。戦争をする国を憎まず、人を殺めた
兵士を嫌わない。憎むのは楽、投げ出して憎まないのも簡単。でも
一度憎んだものを やるすのは大変だと思います。だから、私は
できる限り やる したいです。戦争を している国も、した国も、他、
まきこまれなくなったりきずついた方々も、敵だった人をやる
してほしい と思います。

広島について思うこと・・・

氏名 (畠田 彩珠)

【広島平和学習に参加する前】

- ・80年前に落とされた原爆によって、どれくらいの犠牲者が出てしまったのかその被害はどれほど恐ろしいものなのか知りたい。
- ・原爆ドームを見て当時の様子を想像し、平和の大切さや戦争の悲惨さを学ばたい。
- ・戦争をくりかえさないためにも80年前のことをしっかり学んでたくさんの人に戦争のことについて考え続けていくことを大切にしてほしい。
- ・広島のお楽しみやき楽しみ。

【広島平和学習に参加した後】

- ・原爆ドームや資料館を見て、当時の光景が思い浮かんできて、見ていて辛かったし、心が痛かった。
- ・知りたかった、広島被害の恐ろしさや、戦争に対する人々の思いを今回の平和学習を通してよく学ぶことができたから本当にいけてよかった。
- ・あの戦争をくりかえさないために、自分なりにできることを考えたりして、考えを深めることができた。
- ・友達のみ人なと仲良くなれてよかったし、たくさん話をしながら、いっしょにご飯を食べたりできてうれしかった。
- ・一生忘れられない思い出になった。

思い出して、考えてみましょう。

小平 第三中 学校 2 年

氏名: 富田彩珠

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

私が一番印象に残ったのは「平和記念式典」の参列です。現地の小学生の言葉や広島の人々の言葉では「戦争は二度と起こさせない」という決意にあらわれていて感動しました。こんな貴重な体験をできてすごくよかったと思います。原爆や広島の被害についても知ることができたから良かったです。この式典を通して、小学生が言っていたように私もたくさんの人々に広島に落ちた原爆のことを知らせていきたいと思いました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつかっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

平和で戦争のない世の中をつかっていくためには私たち子供が戦争について知り、たくさんの人々に戦争の恐ろしさ伝えていくことが大切だと思います。でも、もっと小さなことでもいいから、平和な世の中をつくるために日々考えていくことがもっと大切だなと思いました。私が大切にしたいと思ったのは自分を大切に、相手も大切にすることです。自分自身を大切にできれば、相手も大切にすることができるのでは一人ひとりが意識すれば平和な世の中につながっていくと思います。

広島について思うこと・・・

氏名 (西尾 百音)

【広島平和学習に参加する前】

- 原爆があり、多くの人が亡くなってしまった。
- 原爆ドームなどの戦争を後世に伝えるための建物がある。
- 「戦争」といえばどこかでいわれる一番最初に悪いツケがのるのは広島だった。
- 6月広島サミットが行われた。
- 広島についてニュースを見ると、自分が今平和に暮らしていることの大変さを実感する。
- 原爆に戦争が広島にどのような影響を与えたのかわかりにくい。
- お好み焼きなどおいしいものがたくさんある。

【広島平和学習に参加した後】

- 原爆が悲しくて、多くの人々が悲しいになってしまい、その影響は今でも残っている。
- 原爆を受けた人々は全身に深刻なやけどを負ってしまい、水を求めて川に入っていた。そして、みんなに水を与えてはならない。
- 平和に関心する人がたくさんある。
- 原爆によって人々の生活は大きく変わってしまい、その影響の大きさは想像よりもはるかに大きい。
- 原爆を受けた人々、そして被害を受けた人たちの想いを知ることができた。
- 戦争の恐ろしさを知ることができた。

思い出して、考えてみましょう。

開智所沢中学校教育

学校 2 年

氏名: 西尾 百音

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

平和記念資料館に展示されていた原爆にあった子供たちの服や、
くつ、弁当箱などの遺留品が一番印象に残りました。服は破け、やがたく
くさんあいていて、よく見ると血の跡が残っていました。弁当箱の中身は真
黒になり、ほとんど溶けてしまっていました。また、服のサイズから自分よりも
小さい子供たちが原爆の被害を受け、亡くなってしまったんだ、ということ
がわかり、とてもつらく悲しい気持ちになりました。原爆が多くの人
を肉体的にも、精神的にも大きく傷つけ、その影響はとても大きく、
計りしれないものだったんだ、ということを実認識しました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

この世界には、平和学習に参加する前の私のように、原爆があった、という
ことは知っていてもその原爆の実態について、よく知らない人がまだまだ
たくさんいます。そんな人々に原爆について知ってもらうために活動して
いる人のように、私も今回学んだことを家族や友達、学校の先生などに
話してみようと思います。原爆の与えた影響や重大さを少しでも
多くの人に伝えることで、その人たちが平和について考える機会を
増やし、それを共有すること、それが平和な世の中をつくるための第一
歩なのではないか、と私は考えます。

広島について思うこと・・・

氏名 (西脇 咲真)

【広島平和学習に参加する前】

- お好み焼きが有名
- 「戦争」について学べる場所
- 原爆が落とされた場所
- たくさんの人の命が奪われた場所
- 原爆ドームがある
- 原爆を落とされた後の人々の苦しみがどのようなものなのかを知りたい
- 戦争後の復興はどのような思いで行われたのか
- どのような原爆の被害を受けたのか自分の目で見てみたい

【広島平和学習に参加した後】

- 人々の悲しみが集まった場所
- 外国人向けの資料などあった
- 原爆がどれだけの人に被害を与えたのかが分かった
- あれほどの被害を受けて、復興できたのかすごいと思った
- 原爆を受けた広島は世界の人の興味を集めている
- 原爆ドームが残っているのがすごいと思った
- 平和がすぐ壊れてしまうものだと感じた
- 原爆の目に何があったのか今までより深く知ることができた

思い出して、考えてみましょう。

小平市立 第一中 学校 2 年 氏名: 西脇 咲真

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

私が一番印象に残ったのは、原爆の様子について描かれた絵でした。人々の苦しむ様子などが生々しく、鮮明に描かれていて、当時の人達がどれだけ苦しんでいたのか、それがとても悲惨なものだったということが伝わり、一番衝撃を受けました。本当に、今自分が生きている環境は素晴らしいもので、戦争の頃の生活と比較すれば、自分がどれほど幸せに生きられているということを強く感じましたし、あの絵の中の人々のような、苦しむ人々をこれ以上増やさないよう、この出来事を後世に伝えていってほしいと思います。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

平和な世の中をつくっていくために私は、1人1人の、平和を願う心が大切なのではないかと思いました。戦争などは私達が止められるわけでもないものだと思います。だからこそ私は、1人1人が平和を願い、つくっていくという気持ちで、心が大切で平和のためにかがせないことなのではないかと思いました。人々が平和を願うためには、その当時の出来事を今回の私達のように体験し、知っていくことが重要で、そのためには、その原爆や、当時の戦争について、私達が自分から知ろうと思い、意識していくことが、私達にできることのひとつだと思います。

広島について思うこと・・・

氏名 (片桐 天花)

【広島平和学習に参加する前】

- 。お好み焼き。広島セーフ。戦争で世界で初めて原爆が投下された被爆都市。。厳島神社。本州四国連絡橋。原爆ドーム。さだこさんの像。4羽がる
- 。世界に戦争の悲惨さを訴えられる唯一の都市
- 。広島記念公園

【広島平和学習に参加した後】

- 。参加する前とあまり変わらない、当たり前のように戦争や原爆の恐ろしさを実感できるところだと思えた。
- 。路面電車。おみじまんじゅう。レモア。水

思い出して、考えてみましょう。

花小金井南中学校 3 年

氏名: 片桐 天花

●平和記念資料館や平和記念公園を訪ねて、何が一番印象に残りましたか。

印象に残った理由もあわせて書いてみましょう。

平和記念資料館が一番印象に残っていて、80
年前に起きた事が今起きたことの様に
感じれた場所で、自分のよりなまだ長く楽しい
人生に残っているはずだった子供達、夢や
目標に向かって生きていくと頑張っていた
大人達、そんな多種多様な人々に無差別に攻撃
されたのだと、身をもって痛感することができ
ました。

●平和について学んでみて、平和な世の中をつくっていくために、何が大切だと思いましたか。

また、そのために自分たちができることは何だと思いますか。

戦争、紛争が絶えないのは「相手の立場にば
って考える、ということをしびいからだ」と思い
ます。なのでこのよりな初歩的な事から地道に
行動していくことが大切だと思います。でも私^{たち}が行動し
ても何も変わりません。国全体が、一丸となって
行動するには、若者にはSNS、年長者には新聞^紙など
世代層に合ったツールを駆使し、情報を発信
し続けていっていかないとダメだと思っています。

参加者名簿



くほうち かいと 久保内 海翔	小平第二中学校 2年
こばやし ゆうき 小林 侑輝	上水中学校 2年
みやな にい 宮奈 新	上水中学校 2年
むろや ともひろ 室谷 知宏	小平第一中学校 2年
すだ めい 須田 明也	花小金井南中学校 3年
にいもと しょう 新本 奨	小平第五中学校 3年
もり やまと 森 大和	小平第六中学校 3年

くまがい りこ 熊谷 俐来	小平第三小学校 6年
みしま りお 三島 梨緒	小平第十一小学校 6年
いいじま わかな 飯島 和奏	小平第四中学校 2年
とくだけ みずき 徳武 瑞月	上水中学校 2年
とみだ あやみ 富田 彩珠	小平第三中学校 2年
にしお もね 西尾 百音	開智所沢中等教育学校 2年
にしわき えま 西脇 咲真	小平第一中学校 2年
かたぎり てんか 片桐 天花	花小金井南中学校 3年

引率：青少年委員 2 人、看護師 1 人、地域学習支援課職員 2 人

2025 小・中学生広島平和学習レポート

令和7年度版

令和7年10月発行

編集・発行 小平市教育委員会教育部地域学習支援課
小平市小川町2丁目1333番地
電話 042-346-9834
chiikigakushushien@city.kodaira.lg.jp